様式第２号（第６条関係）

認定団体登録事業計画書

事業概要	本事業は、専門職による「まちのほけんしつ」を地域へアウトリーチする「出張ドクターズカフェ」を展開します。その際、滋賀医科大学精神医学講座が作成した「心理的安定化トレーニングのためのワークブック」（イギリス NHS のトラウマ・インフォームド・ケアに基づく）を活用し、地域住民のメンタルヘルス向上を図ります。不登校や休職中の若者は、カフェスタッフとして運営に参画しつつ、共にワークを体験することで自己治癒と社会参画を同時に果たし、地域全体を包括的に支える持続可能なインフラを構築します。
事業目的	守山市をはじめとするすべての子ども・若者が尊重され、健やかに学び育っていける地域社会の実現を目的とします。また、若者が「支援される側」から「支える側」へと役割を広げることで自己肯定感を育むとともに、地域の大人世代の健康不安にも専門職が早期介入し、多世代が支え合う「面」のセーフティネットを作ることを目指します
事業実施に至る動機・背景	これまで不登校支援等を行う中で、不登校に限らず思春期特有の不安や、それを支える保護者・大人世代の健康不安が深刻化している課題に直面してきました。拠点に足を運びづらい高齢者やひきこもりがちな若者、そのご家族へのアウトリーチが急務です。 近年、メンタルヘルスの悪化にはトラウマや逆境体験が密接に関連していることが広く認識されています。弊団体では令和 8 年度に滋賀医科大学の精神科医を招き「トラウマインフォームドケア」の研修を実施しました。そこで得た知見とネットワークを地域へ還元するため、同大学が公開する医学的根拠に基づいたワークブックを「出張ドクターズカフェ」のプログラムとして導入し、若者の社会参画と掛け合わせた独自の支援モデルを企画しました。
期待される効果	専門職が地域に出向くことで相談の敷居が下がるだけでなく、「マインドフルネス」や「セルフ・コンパッション」といった具体的なセルフトレーニングの手法を地域住民が習得でき、精神疾患の重症化を防ぐ「防波堤」として機能します。また、若者がスタッフとして参画し、地域住民と共に自己記入式のワークを実践することで、支援される側から支える側へと役割が広がり、社会的自立に向けた実践的な自信と自己肯定感を育みます。
この補助金がなぜ必要なのか	本事業の要である「質の高い専門家（医師等）による相談体制の維持・スーパービジョン」や、出張開催に伴う環境整備（広報や備品等）への初期投資として必要です。この認定期間を「組織のひとりだち」に向けた戦略的投資期間と位置づけ、ふるさと納税による寄付と自主財源（勉強会収益等）を掛け合わせ、助成終了後の完全自走化への移行基盤を固めるためです。

【具体的な活動のスケジュール】

事業実施場所		もりやまエコパーク（既存拠点）、および市内の公民館・高齢者施設・既存カフェ等の連携施設（出張先）
事業の対象者		守山市内の子どもから高齢者、不登校・休職中の若者やその保護者
月別スケジュール **※初年度のみ**	**４月**	企画会議、出張先施設・連携団体との調整
	５月	まちのほけんしつ（拠点開催） 出張ドクターズカフェに向けた若者スタッフ研修（心理的安定化トレーニングの基礎）

	6月	つながり育む小さな勉強会①（専門家を招いた有料研修）
	7月	出張ドクターズカフェ①（テーマ：「呼吸とリラクゼーション・安全な場所づくり」ワークの実践とカフェ交流） （連携施設にて開催・若者がスタッフ参加）
	8月	つながり育む小さな勉強会②
	9月	まちのほけんしつ（拠点開催）
	10月	地域支援者向け事例検討会・合同スーパービジョンの開催
	11月	まちのほけんしつ特別出張イベント（市民活動フェスタ等）
	12月	出張ドクターズカフェ②（テーマ：「セルフ・コンパッションを育む・良い睡眠」ワークの実践とカフェ交流）
	1月	
	2月	まちのほけんしつ（拠点開催）、次年度へ向けた企画会議
	3月	決算、事業報告書作成

【団体全体の計画】

認定期間３年間の展開や計画	１年目	「出張ドクターズカフェ」の試行と定着。他団体との連携体制を構築し、若者が無理なくカフェスタッフとして参加できるモデルを確立します。
	２年目	出張先のエリア拡大と若者の出番の役割の多様化。HP 作成をし、団体の存在をアピール。
	３年目	組織の自走に向け、有料の勉強会開催や協力金システム、HP を通じた寄付の呼び掛けなど自主財源の確保を安定化させ、補助金に依存しすぎない安定した経営を目指します。
認定期間終了後の展開や計画	本事業で構築した「多角的な収益モデル」を基盤に、出張ドクターズカフェとまちのほけんしつを安定的・継続的に開催します。専門職チームによる相談機能を維持しながら、地域団体や行政と多層的な連携を深め、この助成制度を「卒業」した持続可能な地域インフラとなります	
寄付（ふるさと納税）を増やすための工夫	近年国を挙げての社会課題である不登校・ひきこもりに立ち向かう団体としてのこれまでの実績や若者が地域を支えるという前向きな「社会参画のストーリー」を SNS や HP 等で積極的に発信します。また、寄付者に対して事業の成果を丁寧に報告し、全国に繋がるタネプロスタッフのネットワークを活用して「応援のタネ」をまく参画の仕組みを広げます。	
当該補助金以外での財源確保の取組み	専門家を招いた質の高い「つながり育む小さな勉強会」の有料化による受講料収入と賛助会員の増強。さらに、出張ドクターズカフェでの「活動応援協力金（募金）」の設置や、HP を通じた寄付の呼び掛け等、財源を確保します。	
アポールポイント	1. **多職種連携とエビデンスに基づく専門性:** 行政や学校ではカバーしきれない「隙間」の相談に対し、精神科医や家庭医、SSW 等が連携して対応します。さらに、滋賀医科大学精神医学講座の「心理的安定化トレーニングのためのワークブック」 という医学的根拠（NHS モデル）のあるツールを地域のアウトリーチ拠点に導入する、非常に先進的で創造性の高い取り組みです。 2. **「応援の循環」による若者の自立支援:** 出張ドクターズカフェにおいて、若者が単なる参加者ではなくカフェの運営スタッフとして働き、住民と共にワークブックでセルフケアを学ぶという「出番と癒やし」をデザインしています。柔軟に計画を進化させ、若者の社会参画と事業の自走化を同時に実現します。	

様式第３号（第６条関係）

事業収支予算(決算)書

（令和９年　４月１日から　令和10年　３月31日まで）

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	75,800円
事業収入	出張ドクターズカフェ参加費）500*5*2回	5,000円
自己負担金(会費等)		円
その他	活動応援協力金（寄付）	1,200円
収入合計	※収入合計=支出合計	82,000円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	・出張ドクターズカフェ医師謝礼（10,000円×2回）＝20,000円 ・調理担当スタッフ謝礼（5,000円×2回）＝10,000円 ・若者スタッフ謝礼（3,000円×2名×2回）＝12,000円	円	42,000円
旅費交通費	若者・スタッフ交通費（1,000円 × 延べ8人分）	円	8,000円
消耗品費	・体重計（2,000円）・カセットコンロ（1,500円）・カフェ提供用紙コップ・茶葉・コーヒー豆等（4,000円） ・ワークブック印刷用インク・用紙・文具等（5,200円）	円	12,700円
食糧費および食材費	カフェ提供用の飲料材料（5000*2回分）		10,000円
印刷製本費	出張ドクターズカフェ周知用チラシ印刷（2,000円）	円	2,000円
光熱水費		円	円
通信運搬費	出張先エリアや関係機関へのチラシ郵送代等	円	3,000円
手数料		円	円
保険料	新規若者スタッフ等のボランティア保険料（560円 × 5名分）	円	2,800円
委託費		円	円
使用料および賃借料	出張先施設（公民館等）のキッチン使用料等	円	1,500円
備品購入費		円	円
小計		円	82,000円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		82,000円

様式第３号（第６条関係）

事業収支予算(決算)書

（令和 10 年　4 月 1 日から　令和 11 年　3 月 31 日まで）

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	90,000 円
事業収入	出張ドクターズカフェ参加費（500*10 名*3 回） 有料勉強会受講費（2000 円*15 名）	45,000 円
自己負担金(会費等)		円
その他	活動応援協力金（寄付）	2500 円
収入合計	※収入合計=支出合計	137,500 円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	・医師謝礼（10,000 円×3 回）＝30,000 円 ・調理スタッフ謝礼（5,000 円×3 回）＝15,000 円 ・若者スタッフ謝礼（3,000 円×2 名×3 回）＝18,000 円 ・事例検討会 医師/指導者謝礼（10,000 円×1 回）	円	73,000 円
旅費交通費	若者・スタッフ交通費（1,000 円 × 延べ 12 人分）	円	12,000 円
消耗品費	・カフェ消耗品（6,000 円） ・HP 初期ドメイン・サーバー代（10,000 円） ・事務消耗品等（1,800 円）	円	17,800 円
食糧費および食材費	カフェ提供用の飲料材料（5000*3 回分）		15,000 円
印刷製本費	出張ドクターズカフェ周知用チラシ印刷（3,000 円）	円	3,000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	出張先エリアや関係機関へのチラシ郵送代等	円	5,000 円
手数料	振込手数料	円	1,600 円
保険料	新規若者スタッフ等のボランティア保険料（560 円 × 10 名分）	円	5,600 円
委託費		円	円
使用料および賃借料	出張先施設（公民館等）のキッチン使用料等	円	4,500 円
備品購入費		円	円
小計		円	137,500 円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		137,500 円

様式第３号（第６条関係）

事業収支予算(決算)書

(令和 11 年　4 月 1 日から　令和 12 年　3 月 31 日まで)

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	50,000 円
事業収入	出張ドクターズカフェ参加費（500*10 名*3 回） 有料勉強会受講費（2000 円*15 名*2 回）	75,000 円
自己負担金(会費等)		0 円
その他	活動応援協力金（寄付）	15,000 円
収入合計	※収入合計=支出合計	140,000 円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	・医師謝礼（10,000 円×3 回）＝30,000 円 ・調理スタッフ謝礼（5,000 円×3 回）＝15,000 円 ・若者スタッフ謝礼（3,000 円×2 名×3 回）＝18,000 円 ・事例検討会 医師/指導者謝礼（10,000 円×1 回）	円	73,000 円
旅費交通費	若者・スタッフ交通費（1,000 円 × 延べ 12 人分）	円	12,000 円
消耗品費	カフェ消耗品（6,000 円） ＋HP 年間サーバー・ドメイン維持費（12,400 円）＋事務用品（3,900 円）	円	19,900 円
食糧費および食材費	カフェ提供用の飲料材料（5000*3 回分）		15,000 円
印刷製本費	出張ドクターズカフェ周知用チラシ印刷（4,000 円）	円	4,000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	出張先エリアや関係機関へのチラシ郵送代等	円	6,000 円
手数料	振込手数料	円	1,600 円
保険料	新規若者スタッフ等のボランティア保険料（560 円 ×10 名分）	円	5,600 円
委託費		円	円
使用料および賃借料	出張先施設（公民館等）のキッチン使用料等	円	1,500 円
備品購入費		円	円
小計		円	140,000 円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		140,000 円